



バウレニヘルスセンターへのX線寄贈

2024年10月28日、JATAザンビアはルサカ市内のバウレニ・ヘルスセンターで、デジタルX線装置とAIによる診断補助装置の引渡式を行いました。これは日本NGO連携無償資金協力の3年プロジェクトの一環で、2年目の今年は機器の寄贈を実現。初年度には2011年にJATAが建設した建物の改修も行いました。

式典には竹内一之大使、保健大臣代理のリシンピ次官をはじめ、多くの関係者や地域の結核ボランティア、住民の皆さんが出席。竹内大使からは、この取り組みが結核の早期発見や地域の医療向上に大きく貢献することへの期待が寄せられました。新たに導入されたX線装置は、AIによる迅速で正確な診断が可能で、これまで遠方の病院まで移動していた住民も、地元で手軽に検査を受けられるようになりました。さらに停電対策としてソーラーパネルと発電機も設置し、安定した運用が可能です。JATAザンビア事務所は今後も、誰もが必要なときに適切な医療にアクセスできるよう、地域と共に歩み続けます。



ドラマパフォーマンス研修

10月7日～11日と11月11日～15日の2回に分けて、各グループ5日間ずつ、ドラマパフォーマンス研修を実施しました。

昨年度の事業で結核ボランティアとして活動していた一部のメンバーが、諸事情により離脱したため、必要に応じて新たなボランティアの補充を行いました。それに伴い、啓発活動に欠かせないドラマパフォーマンスのスキルを新たなメンバーに習得してもらうと同時に、既存のボランティアとともに再研修を行いました。

今回の研修を通じて、新たに加わったメンバーと既存のボランティアが協力し合い、より一層効果的な啓発活動を展開できることを願っています。



X線撮影研修

12月9日から13日の5日間にわたり、南アフリカからX線撮影の専門家であるイベッテ氏をお招きし、X線撮影に関する専門研修を実施しました。研修には、当プロジェクトが支援する2つの医療施設から、合計10名の医療スタッフが参加しました。

特に今年度、新たにX線機器を導入したバウレニ・ヘルスセンターからは3名のX線技師が参加し、機器の操作方法を含む実践的な知識と技術を集中的に学ぶ貴重な機会となりました。

本研修は、参加者にとって非常に実りの多い学びの場となり、今後の結核診断体制や医療サービスの質の向上に大きく貢献することが期待されます。



世界結核デー

3月25日、「Yes! We Can End TB: Commit, Invest, Deliver!」をテーマに、ザンビアで世界結核デーの式典が行われました。ザンビア保健省をはじめ、結核予防会や関係団体が協力して、結核への理解と関心を高めるために準備を進めてきたこのイベント。

当日は、私たちの事業で活動しているコミュニティボランティアも啓発パフォーマンスに参加し、日頃の活動成果を元気いっぱいに披露しました！
式典では、リシンピ保健省事務次官やWHOザンビア代表のチテンボ氏から、これまでの結核対策の努力と成果についてのスピーチもあり、参加者全員が結核根絶への意識を新たにする機会となりました。



顕微鏡研修

1月6日から10日までの5日間、結核予防会ザンビア事業部は顕微鏡検査研修を実施しました。日本から成田専門家を講師として迎え、ザンビア大学付属病院および胸部疾患検査室の講師とともに、蛍光顕微鏡と外部精度調査に焦点を当てた実践的な研修が行われました。

参加者は、試薬や塗抹標本の準備、スライドの観察、記録方法などを学び、事後テストでは全員が事前よりも良い成績を収めました。

今後は、各職場において、学んだ知識や技術を共有し、結核診断や患者ケアの質の向上に貢献していくことが望まれます。現場で今回の研修内容をしっかりと活かし、さらなる活躍につなげていただきたいと思います。



NGO連携無償資金協力事業署名式 (3年次)



2月28日、結核予防会ザンビア事務所は在ザンビア日本大使館と、NGO連携無償資金協力(378,766米ドル)の署名を行いました。

この資金は、私たちが取り組む「ルサカ郡における結核診断技術の向上を通じた結核対策プロジェクト(3年次)」に活用されます。これまでと同様に、医療資機材の提供や医療従事者の研修、そしてマテロ地区・チレンジェ地区でのコミュニティ啓発活動などを進めていきます。

今後の活動にもぜひご注目ください！

年間レビュー会議

3月26日、2年次の成果や今後の課題を共有する年間レビュー会議を開催しました。

会議では、今年度実施した研修や各施設における指標の達成状況を報告するとともに、最終年となる3年次の活動計画についても紹介しました。

保健省結核対策部のムバンガ氏からは、「結核対策団体による2015年からの継続的な取り組みにより、感染率が20%も低下した」との力強いコメントもいただき、参加者にとって励みとなる機会となりました。



わたしたちのアクティビティ



ザンビア移動セミナー①
(太田医師)



ザンビア移動セミナー②
(JATA TBコーディネーター
ダカ氏)



世界結核デー①
(結核ボランティアの活動の様子)



世界結核デー②
(結核ボランティアの活動の様子)



積極的に発言する
結核ボランティア(総勢60名)



JATA ZAMBIAオフィスの
木に自然と実るマンゴー



本事業は日本NGO連携無償資金協力および複十字シール募金により実施されています。